

2014 ジャパンシリーズ トライアル 第2戦 岐阜大会 イベントレポート



梅雨明けを間近に控えた2014年7月20日。岐阜県百年公園にて2014 Jシリーズ 第2戦が開催されました。広大な森林を有する公園の一角に設けられたトライアル用の敷地に、丸太、枕木、タイヤ、コンクリートブロック等を配置してセクションを設営。国際大会にも引けをとらないハイレベルな構成であった昨年のセクションを全て撤去し、新たに6つのセクションを作成する大掛かりな作業に、今大会の主管団体であるチーム・アンテロープスの並々ならぬ気合いとセクション作りに対する思い入れが感じられました。

「常に世界トップクラスのライディングを意識する」というアンテロープスの姿勢は確実にセクションに反映され、国際大会を彷彿とさせる難易度の高いセクションを前に戸惑う選手の姿も多く見られましたが、「世界のレベル」を体感する良い機会であったと思います。また、世界選手権 / ワールドユースゲームへの遠征を直後に控えた選手達にとっては良い演習となりました。

今大会ではエリート 20/26 カテゴリーにおいて、ワールドカップに習った「スーパーファイナルラウンド」を実施。6セクション x 2ラップを終えた段階での上位4名がスーパーファイナルラウンド 3セクション x 1ラップを走り、合計の点数で順位を決するという流れで競技を行いました。

エリートの上位選手のライディングをじっくりと観戦できる事は、観客に競技を一層楽しんでもらう事に加えて、選手やその父兄にとっても良い刺激と勉強の機会となったと思います。



前日は大会の開催が危ぶまれるほどの急激な大雨に見舞われましたが、大会当日は午前中の小雨程度。午後からは強すぎない陽光が降り注ぐ好天に見舞われました。とは言っても7月の半ば…、猛暑の中ご協力頂きましたコミッセルの皆様、コースの設営から運営を担って頂きましたチーム・アンテロープスの皆様、そしてご参加頂きました選手と父兄の皆様にご心からの感謝を申し上げます。

日 時 : 2014/7/20

会 場 : 岐阜県百年公園 岐阜県関市

参加選手数 : 48名 (出走 47名) / 来場者数 : 300名

主 催 : JBTA 日本自転車トライアル協会

主 管 : チーム アンテロープス